

森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

渦が森地区（灘区・東灘区）で始まった東の交流の森の紹介

10年以上活動を続けてきた長田区の交流の森は一定の整備が進み、人や動植物にとってよい空間になりつつあります。既存の交流の森の手入れを続けながら、六甲山系の東側（渦が森地区）でも、交流の森（通称：東の交流の森）森づくり活動を始めました。

渦が森地区とグリーンベルト整備事業等

- ・グリーンベルト整備事業開始当初より整備が進められた地域の一つです。
- ・地震直後に緊急整備した全国的にも珍しい鋼製の堰堤が整備されています。
- ・親子植樹のイベント等による樹林整備が平成19年まで行われました。
- ・現在は一部を六甲砂防事務所が、一部を森の世話人（4団体）が管理・整備しています。
- ・周回のモデル林として整備され、案内標識や樹名板が設置されています。
- ・モデル林周回コース周辺は樹林整備が進んでいますが、斜面地ではニセアカシア群落が広がり、林床にはネザサが密生し、樹林整備を必要としています。
- ・モデル林入口までは、最寄りの神戸市バス「渦森台」バス停から徒歩5分の距離にあり、アクセスのよいところに位置しています。



樹林整備モデル林の案内図

交流の森での整備内容

- ・「市民活動による森づくり」として、モデル林コースにおける見どころの一つとなるよう整備します。
- ・具体的にはネザサを刈取り、コナラ-アベマキ群集の構成種を植栽して林相転換を図ることに加え、景観や生物多様性にも配慮して、楽しみながら整備を行う予定です。
- ・当面は安全に活動できるよう、管理道を整備します。

第1回 整備活動 管理道作り



ネザサが密生し、道はない...



道の姿が見えてきました



道ができ、歩きやすくなりました

東の交流の森の将来像（10年後）

- ・ニセアカシア群落からコナラ-アベマキ群集への林相転換が進んでいます。
- ・管理道や階段が整備され、市民が安全にモデル林コースをめぐることができます。
- ・大阪湾や神戸の街並みが眺望でき、散策したり、休憩場所として利用しています。



当面は森の世話人限定で活動を行います。（令和7年2月に2回目の活動を予定）

未来を守る緑の六甲へ